

シラバス

科目名	社会福祉調査の基礎		
担当教員	竹中健		
配当年次	2 年次	開講時期	1 学期
単位区分	選択	単位区分補足	
授業形態	講義	単位数	2 単位
準備事項			
備考			

【授業のねらい】

- ①社会福祉調査の意義と目的について理解する。
- ②社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係について理解する。
- ③社会福祉調査における倫理や個人情報保護について理解する。
- ④量的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する。
- ⑤質的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する。
- ⑥ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解する。

【授業の展開計画】

1. 社会福祉調査の目的・役割・意義
2. 社会福祉調査の計画と準備・倫理的配慮・個人情報保護・訪問面接調査・郵送調査・留め置き調査
3. 社会福祉調査のプロセス(問の設定、概念化・操作化、対象と方法の選択、データ収集、分析、考察)
4. 量的調査の設計 調査票の質問項目の作り方 調査票の配布と回収
5. パーソナルな質問とインパーソナルな質問
6. 統計法 量的調査の分析手法 相関・クロス集計・検定
7. 測定 測定の水準 測定の信頼性と妥当性
8. 単純集計と記述統計 コーディング
9. 調査法の比較 量的調査と質的調査 IT の活用方法
10. リサーチデザインのつくりかた グラウンデッドセオリーアプローチ
11. インタビューのしかた 自由面接法 構造化面接 半構造化面接
12. 参与観察法 ゴッフマン『アサイラムス』誠信書房
13. 質的調査 病院ボランティア組織の調査より 質的調査の手法・概念の整理
14. 量的調査『大学生と語る性』より 量的調査の手法・概念の整理
15. ソーシャルワークにおける評価(意義・対象・方法)

【履修上の注意事項】

各回の講義内容に沿って事前学習と事後学習をし、内容の理解を深めること。

【評価方法】

合計 5 回のテストを講義内で行う。試験週間には試験を行わない。
合計 5 回のテストを総合して最終評価点とする。

【テキスト】

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

【参考文献】

E. ゴッフマン『アサイラムー施設被収容者の日常世界』誠信書房
その他、授業の中で適宜指示をする。